

情報かわら版



川崎市立小学校情報教育研究会
会長 岩田昭彦(宿河原小学校)
平成 29 年 8 月 第 4 号
担当 橘小学校 佐藤 譲

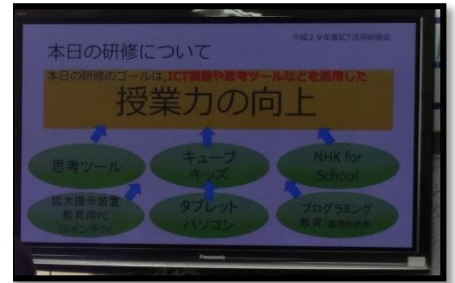
情報研おすすめイベントはこちらのQRコードからぜひ！

夏休み明けから使えるスキルを学んで、ICT を活用した授業作りをしよう

平成 29 年 7 月 24 日(月)、川崎市立稲田小学校にて情報・視聴覚センターとの共催研修が行われました。今年度のテーマは「ICT を活用した授業づくり」です。当日は、50 名近くの参加があり、参加したみなさん一人一人が、課題を明確にもち、前向きに取り組む様子が見られました。

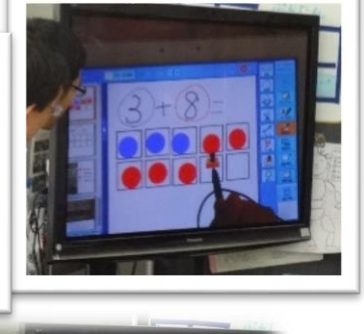
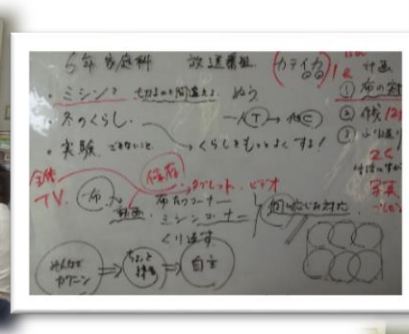
午前は、参加者全員で、今回の研修の目的やねらい、研修のゴールについて共有しました。その後、個人の興味や関心のある講座を6つの中から3つ選択し、スキル研修を行いました。以下、スキル研修の一覧と概要です。

- ◇タブレット端末活用・・・タブレット端末の特徴や実践報告、体験活動など
 - ◇キューブきっず・・・ソフトを使った授業実践、体験活動など
 - ◇NHK for School 活用・・・放送番組を使った活用場面や実践報告の紹介など
 - ◇思考ツール・・・思考ツールを用いる目的や実践報告、体験活動など
 - ◇プログラミング教育・・・プログラミング教育の概要、体験活動、実践報告など
 - ◇普通教室での ICT 活用・・・ICT を使う目的や場面、環境を整える上での留意点など
- スキル研修で学んだことを、グループの中で情報交換をし、共有化を図りました。午後の授業作りに向けて、見えそうな素材やツールなどが見つかったようでした。



午後は、8つのグループに分かれての授業作りワークショップを行いました。同じ学年を担当している先生方が集まっているので、まずは「〇年生ならどんな場面でICTを活用できるか。」を話し合いました。今回の研修では、「児童による活用場面」なのか「教師による活用場面」なのかを明確にするようにした授業作りを行いました。およそ2時間のワークショップの中で、先生たちが主体的に課題と向き合い、同じグループの先生とも進んで話し合い、よりよい授業になるように練り上げる様子がたくさん見られました。

全体会では、各グループが3分という短い時間で、研修して学んだことを生かしてICTを活用した授業や教材を提案しました。



講師の情報・視聴覚センター 草柳譲治指導主事からは、新学習指導要領の内容をふまえて今回の研修について振り返っていただきました。参加した先生たち自身が課題に主体的に取り組み、先生たちとコミュニケーションを図ることで主体的・対話的で深い学びができた研修だったのではないかとご助言をいただきました。また、ICTが先生たちの授業作りをする上での手助けとなることも話題にされました。そして、夏休み明けに学校で子どもたちの情報活用能力を伸ばすことができるように、今回の研修で学んだことを生かしてほしいともアドバイスをいただきました。

